

大項目	(1) 子育ての支援
中項目(1)	1. 本市は、子どもの健やかな育ちを支援するため保護者、学校等関係者及び地域住民等と連携し、及び協働し、次に掲げる施策を実施します。
中項目(2)	(1) 子どもが安全に安心して過ごすことができる居場所づくり
小項目	

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実施計画	H31年度以降
①中央児童館の活用	子育て支援課	延べ利用人数11,536人(内訳 任意利用 6,730人 行事・イベント 2,282人 クラブ活動 2,195人 ジュニアリーダー養成研修会 329人)	市内1か所において、各種子育て支援サービスを実施します。	市内1か所で各種子育て支援サービスを継続して実施していきます。
②放課後子ども教室の充実	社会教育課	全小学校区において実施。(定員300人) 放課後児童クラブとの一体化事業を2小学校区において実施(東・高台寺)	引き続き全小学校区において実施していく。国が定める「放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後児童クラブとの一体化事業を進める。	引き続き全小学校区において実施していく。国が定める「放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後児童クラブとの一体化事業を進める。
③放課後児童クラブの充実	子育て支援課	市内8クラブで実施しました。 登録児童数 350人 耐震基準を満たしていない施設について1か所整備を行った。(西こどもの家)	市内8クラブで実施します。 耐震基準を満たしていない施設について1か所整備を行います。	市内8クラブで実施します。
④長期休暇期間の小学生の居場所の提供	子育て支援課	募集定員120人(内訳 児童館60人 西小30人 蛭間小30人) 夏休み121人(内訳 児童館60人 西小27人 蛭間小34人) 春休み106人(内訳 児童館60人 西小19人 蛭間小27人)	中央児童館と小学校2校において、夏休みと春休みの長期休暇期間に子どもの居場所を提供します。	中央児童館と小学校2校で長期休暇期間の子どもの居場所づくりを継続して実施していきます。
⑤学校体育施設の開放	社会教育課	市内小・中学校の体育施設を開放。 H29年度登録実績:44団体1,039人登録	市内小・中学校の体育施設を開放し、スポーツ活動の拠点を提供する。	市内小・中学校の体育施設を開放し、スポーツ活動の拠点を継続して提供する。
⑥児童科学館の活用	社会教育課	常設展示やプラネタリウム上映だけでなく、星空教室や工作教室などの各種事業を実施し(延参加者526人)、施設利用を通じて子どもの安全・安心な居場所を提供した。	常設展示やプラネタリウム上映、工作教室などの各種事業を実施し、施設利用を通じて子どもの安全・安心な居場所を継続して提供していく。	常設展示やプラネタリウム上映、工作教室などの各種事業を実施し、施設利用を通じて子どもの安全・安心な居場所を継続して提供していく。
⑦図書館の活用	社会教育課	通年での読み聞かせ会やクリスマス会等の各種事業を実施し(参加者及び登録者:計2,704人)、子どもが読書に親しむだけでなく、安心・安全な居場所を提供した。	年間を通して各種読み聞かせ会や季節の事業を実施し、施設利用により子どもに安心・安全な居場所を継続して提供していく。	年間を通して各種読み聞かせ会や季節の事業を実施し、施設利用により子どもに安心・安全な居場所を継続して提供していく。
⑧ふくししくん広場の充実	福祉課(社協)	・開催回数:月1回、年間計12回 ・延べ利用人数:225名 (内訳:大人68名 子ども81名 ボランティア76名)	ボランティア等の講師を招いて、親子楽しむことができる催し物を継続して行う。	アンケート等を活用し、意識調査を行うことで、利用者の定着を図る。

大項目	(1) 子育ての支援
中項目(1)	1. 本市は、子どもの健やかな育ちを支援するため保護者、学校等関係者及び地域住民等と連携し、及び協働し、次に掲げる施策を実施します。
中項目(2)	(2) 子どもが社会との関わりの中で、社会の責任ある一員として自立していくために必要な支援
小項目	①学校等における支援

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実施計画	H31年度以降
①豊かな心の育成	学校教育課	様々な方面で活躍した方を講師に招き、講話を聴いた。	継続。	継続も含め、今後検討。
②適応指導教室の充実	学校教育課	市内2か所で適応指導教室を開設した。	継続。	継続。
③健やかな体の育成	学校教育課	総合的な子どもの基礎体力向上作戦(SKIP)を実践した。	継続。	継続。
④地域の人材の活用	学校教育課	学習や部活動等で協力をお願いしたいときに依頼をして活用させていただいた。	継続。	継続。
⑤外国語指導助手 (ALTの活用)	学校教育課	6名のALTが市内の8校の小学校、4校の中学校で勤務した。	継続(1名入替有)	継続(1名入替有)
⑥地域の根ざした学校づくり	学校教育課	学校支援地域本部が中心となり、学校・家庭・地域が連携して地域ぐるみで子どもを育てる取り組んだ。	継続。	継続。

大項目	(1) 子育ての支援
中項目(1)	1. 本市は、子どもの健やかな育ちを支援するため保護者、学校等関係者及び地域住民等と連携し、及び協働し、次に掲げる施策を実施します。
中項目(2)	(2) 子どもが社会との関わりの中で、社会の責任ある一員として自立していくために必要な支援
小項目	②地域における支援

細目	担当課	H 2 9 年度実績	H 3 0 年度実施計画	H 3 1 年度以降
①異年齢世代交流の機会の提供	子育て支援課	市内全ての保育園、幼稚園、こども園において、小学生と園児が触れ合ったり、中学生が園に来て職場体験を行う等の異年齢交流や、園児が老人ホームに行ったり、園で行う敬老会に参加してもらったり等世代交流を行っている。	引き続き、異年齢交流及び世代交流を行う。	引き続き、異年齢交流及び世代交流を行う。
	学校教育課	以下のような取り組みを行った。 ・小学校で高齢者の方を招いて昔の遊びを学んだ。 ・中学校の生徒が小学校に訪問し部活動を行った。 ・小学校と中学校の児童会、生徒会と一緒に挨拶運動を行った。 ・津島高校が小学校へ訪問し、外国語の授業を行ったなど、様々な機会を持って交流した。	継続(どのような形で行うかは未定)	継続予定
②地域のスポーツ活動の支援	社会教育課	総合型地域スポーツクラブ「津島スポーツクラブホワイトウイングズ」の活動を支援。 地域の教育力の向上を図るため。スポーツ少年団では指導者講習会を3月3日(土)に実施。	総合型地域スポーツクラブの育成およびスポーツ少年団指導者への講習会を開催し、地域のスポーツ活動を支援する。	総合型地域スポーツクラブの育成およびスポーツ少年団指導者への講習会を継続して開催し、地域のスポーツ活動の支援を引き続き行う。
③親子で一緒に体験できるイベントの実施	社会教育課	2月3日(土)に「つまおやこワクワク体験活動フェスティバル！」を開催し(一般参加者313人)、家族等で楽しめる体験活動や異世代間交流の場を提供した。 ・作って遊ぼう簡単紙工作 11月1日(水) 37人 神島田保育園 ・就学に向けて 1月26日(金) 16人 神守保育園	子どもの社会体験や体験活動の推進と子育て支援団体との交流の場を継続して設け、子どものコミュニケーション能力向上や社会性を育む機会を提供する。 家庭教育学級に準じた、子どもを対象にした講座において、保護者の参加しやすい日時で各講座を開催する。	子どもの社会体験や体験活動の推進と子育て支援団体との交流の場を継続して設け、子どものコミュニケーション能力向上や社会性を育む機会を提供する。 継続して実施する。
④郷土への愛着や誇りを育む学習や体験、交流の推進	社会教育課	「祭りを学ぶⅢ」として、7月9日(日)に事前学習、7月23日(日)に朝祭の車楽舟見学を実施した。小学4～6年生延べ60人の参加者があり、地域の祭りについての理解を深めた。	「祭りを学ぶⅣ」として、体験や見学を通して、地域の祭りについての理解を深める機会を提供する。	「祭りを学ぶⅤ」として、体験や見学を通して、地域の祭りについての理解を深める機会を提供する。

大項目	(1) 子育ての支援
中項目(1)	1. 本市は、子どもの健やかな育ちを支援するため保護者、学校等関係者及び地域住民等と連携し、及び協働し、次に掲げる施策を実施します。
中項目(2)	(2) 子どもが社会との関わりの中で、社会の責任ある一員として自立していくために必要な支援
小項目	⑤ 障がい児施策の充実

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実施計画	H31年度以降
① 障がい児保育の促進	福祉課	支給決定者数170人(内訳 児童発達支援64人、放課後等デイサービス106人 保育所訪問支援2人)	関係機関と連携し、療育が必要な親について、福祉サービス事業の周知を行っていきます。	関係機関と連携し、療育が必要な親について、福祉サービス事業の周知を行っていきます。
	子育て支援課	市内9保育所・認定こども園で20名の障がい児を受け入れました。	引き続き、障がい児の受け入れに力を入れてまいります。	引き続き、障がい児の受け入れに力を入れてまいります。
② 特別児童扶養手当の支給	子育て支援課	特別児童扶養手当支給件数 104件(児童数 108人)に支給しました。	制度の周知を徹底し児童福祉の増進を図ります。	制度の周知を徹底し児童福祉の増進を図ります。
③ 障がい者医療費の支給	保険年金課	障がい者医療費の助成を行いました。 障がい者医療費受給対象者数658人 うち子ども128人 精神障がい者医療費受給対象者数209人 うち子ども1人 (平成30年3月時点)	障がいがある方の福祉の増進を図るため、医療費の助成を、今後も継続して実施します。	障がいがある方の福祉の増進を図るため、医療費の助成を、今後も継続して実施します。
④ 特別支援教育就学奨励費の支給	学校教育課	市内の小中学校に通う児童生徒58名に対し、全期分と後期分を合わせて、2,610,860円を支給した	継続	継続予定

大項目	(2) 子育て家庭の支援
中項目(1)	1. 本市は、子育てをしている家庭に気を配り、保護者が安心して子育てをすることができるよう必要な支援を行います。
中項目(2)	
小項目	① 子育て支援サービス

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実施計画	H31年度以降
① 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実	健康推進課	子育て世代包括支援センター事業を開始し、母子手帳交付時に市民と保健部門、児童福祉部門の顔つなぎを行いました。支援の必要な家庭を早期に把握し、妊娠期から関係機関と連携して支援を行いました。	子育て世代包括支援センター事業を継続し、母子健康手帳交付時の面接から支援が必要な家庭を早期に把握し、妊娠、出産、子育て期それぞれの課題に応じて関係機関と連携し切れ目ない支援をします。	子育て世代包括支援センター事業を継続し、母子健康手帳交付時の面接から支援が必要な家庭を早期に把握し、妊娠、出産、子育て期それぞれの課題に応じて関係機関と連携し切れ目ない支援をします。
② 地域子育て支援センターの充実	子育て支援課	東・西地区子育て支援センター延べ利用人数 21,631人 親子あそび講座322人 育児講座136人 青空保育 114人 すくすくひろば335人 はじめのいっぽ133人 親子交流教室154組 育児相談491人(保健師・栄養士相談を含む)個別相談(予約制)74人	親子の交流の場や育児相談、子育てに関する情報提供を行う拠点として事業内容の充実を図ります。親子あそび講座年6回開催・育児講座年6回開催・青空保育年23回開催・すくすくひろば毎月開催・はじめのいっぽ毎月開催・親子交流教室5回開催(週1回連続6回)・個別相談毎月4回開催	継続して行い、親子の交流の場や育児相談、子育てに関する情報提供を行う拠点として事業内容の充実を図ります。
③ 子育て支援サービスの情報提供の充実	子育て支援課	子育て支援アプリ及びウェブサイト「つまっち」公開開始 子育てカレンダーを毎月発行し市内のひろば・園開放など一覧で情報提供する。 情報紙「すくすく」毎月発行 ホームページで情報提供 ガイドブック29年度版(29年4月発行)3000部	子育て世代を対象に、各種行政サービス情報を発信し、利用者の利便性を高めた子育て支援情報を幅広く提供し、積極的な情報提供に努めます。子育てカレンダー・情報紙「すくすく」毎月発行ガイドブック30年度版(30年4月発行)5000部	継続して行い子育て世代を対象に、各種行政サービス情報を発信し、利用者の利便性を高めた子育て支援情報を幅広く提供し、積極的な情報提供に努めます。
④ 切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策の充実	健康推進課	妊婦とその家族の産後の不安解消のため、両親教室の実施や地域の子育て支援サービスとのつなぎを妊娠期から行い、産後の生活について具体的なイメージを持ってもらえるよう支援しました。低出生体重児は増加傾向にあるため、その要因となる女性のやせや喫煙などの習慣を改善するために、思春期から啓発を行いました。	妊娠期より、妊婦とその家族に対し産後の生活を具体的にイメージしやすいよう支援します。また、地域の子育て支援サービスのつなぎを妊娠期から行い、肯定的に育児できるよう努めます。思春期から低出生体重児の要因である若い女性のやせや喫煙などの習慣改善のための啓発を行います。	妊娠期より、妊婦とその家族に対し産後の生活を具体的にイメージしやすいよう支援します。また、地域の子育て支援サービスのつなぎを妊娠期から行い、肯定的に育児できるよう努めます。また、思春期から低出生体重児の要因である若い女性のやせや喫煙などの習慣改善のための啓発を行います。

⑤子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり	子育て支援課	地域子育て支援センターを中心に、親子あそび講座などを実施しました。また気軽に相談ができるように各子育て支援センターにおいて利用者支援事業を実施しています。	引き続き、市民が利用しやすい地域子育て支援センター事業及び利用者支援事業を推し進めてまいります。	引き続き、市民が利用しやすい地域子育て支援センター事業及び利用者支援事業を推し進めてまいります。
	健康推進課	母子健康手帳交付時に、子育てガイドブックの紹介を行い、妊娠・出産・育児に必要な情報提供を行いました。また、乳幼児健康診査において、親子のふれあいや遊びの提供を通して育児支援となる子育て支援センター、育児サークル、ボランティア等の情報提供をし、子育てのイメージができるような場づくりを実施しました。	妊娠から育児までの支援を身近に受けられるために、母子健康手帳交付時や乳幼児健康診査の場等を活用し、対象者に合わせて必要な情報提供と相談先の周知を行います。地域の子育て支援サービスについて、顔のみえるつなぎを大切にしながら、地域で安心して出産・育児ができるよう、親と子への支援に努めます。	妊娠から育児までの支援を身近に受けられるために、母子健康手帳交付時や乳幼児健康診査の場等を活用し、対象者に合わせて必要な情報提供と相談先の周知を行います。地域の子育て支援サービスについて、顔のみえるつなぎを大切にしながら、地域で安心して出産・育児ができるよう、親と子への支援に努めます。
⑥子育てサークルの育成	子育て支援課	サークルリーダー会年3回・サークル交流会年3回開催 5サークル立ち上げ(現在15サークル)	各地域で子育てサークルの数を増やし、その育成を支援していきます。サークル活動がしやすい環境を提供するとともに、親の主体性が高まるように意識を高めます。 サークルリーダー会年3回・サークル交流会年3回開催	各地域で子育てサークルの数を増やし、その育成を支援していきます。サークルが活動しやすい環境を提供するとともに、親の主体性が高まるように意識を高めていきます。
⑦子育てサロンの開催	子育て支援課	蛭間地区コミュニティセンターで、毎月第2月曜日(午前10時～午後3時)、第4水曜日(午前10時～11時30分)に子育てサロン「おたまじゃくし」を開催しました。 平成29年度開催実績:17回	蛭間地区コミュニティセンターで、毎月第2月曜日(午前10時～午後3時)、第4水曜日(午前10時～11時30分)に子育てサロン「おたまじゃくし」を開催する。 平成30年度開催予定:16回	蛭間地区コミュニティセンターで、毎月第2月曜日(午前10時～午後3時)、第4水曜日(午前10時～11時30分)に子育てサロン「おたまじゃくし」を継続して開催する。
⑧園解放の継続	子育て支援課	共存園保育所(毎週月曜日)45回 利用人数252人 新開保育園(毎週金曜日)47回 利用人数140人	子どもの遊び場・親の子育ての情報交換・友達づくりの場として保育所の園庭、園舎を開放します。 共存園保育所(毎週月曜日)・新開保育園(毎週金曜日)	子どもの遊び場・親の子育ての情報交換・友達作りの場として保育所の園庭、園舎を開放していきます。
⑨延長保育の実施	子育て支援課	共存園保育所 登録人数6名 年間利用人数延べ503人 新開保育園 登録人数20名 年間利用人数延べ1,061人	継続して実施していきます	継続して実施していきます
⑩公立・民間保育所での一時預かりの継続	子育て支援課	共存園保育所 登録人数407名 年間利用人数延べ565人 新開保育園 登録人数405名 年間利用人数延べ597人	継続して実施していきます	継続して実施していきます
⑪病児・病後児保育の充実	子育て支援課	神島田保育園 登録人数132名 実利用者数 40名 延べ利用者数 105回	継続して実施していきます	継続して実施していきます
⑫休日保育の継続	子育て支援課	東愛宕保育園 登録人数 25名 実利用者数 11名 延べ利用者数 244回	継続して実施していきます	継続して実施していきます
⑬児童養護施設等の短期利用	子育て支援課	実績なし。	3施設(衆善会乳児院(名古屋市)、溢愛館(犬山市)、あいさんテラス(津島市))へ委託を継続し、実施していきます。	継続して実施していきます

⑭家庭教育学級の推進	社会教育課	東小学校区を重点地域指定し、話し方や読み聞かせ、工作教室等の各種事業を実施して家庭や地域の教育力向上推進に向けた事業を展開した。	重点地域として高台寺小学校区を指定し、各種の事業を通じて家庭教育の推進に向けた事業を実施していく。	重点地域として高台寺小学校区を指定し、各種の事業を通じて家庭教育の推進に向けた事業を実施していく。
⑮子育て支援ボランティアの育成	福祉課（社協）	ニーズがないので、行っていない。	ニーズがあり次第対応していく。	ニーズがあり次第対応していく。
⑯小学校区家庭教育の推進	社会教育課	PTA組織を中心としたあいさつ運動や交通安全教室の実施により保護者同士の連帯を深め、家庭教育や地域の教育力向上を推進した。	地域協力者やPTA組織を軸として各種事業を継続して実施し、家庭教育への理解を深め、地域の教育力向上を推進していく。	地域協力者やPTA組織を軸として各種事業を継続して実施し、家庭教育への理解を深め、地域の教育力向上を推進していく。
⑰親子ロードショーの開催	社会教育課	親子や家族で楽しめる「おいまつシネマ上映会」を開催(8月8日(火)～10日(木)、参加延101人)。平和教育アニメーション等を上映し子育てを支援した。	娯楽や平和教育アニメーション作品の上映を通して家族等での共通時間の提供や話題を継続して提供していく。	娯楽や平和教育アニメーション作品の上映を通して家族等での共通時間の提供や話題を継続して提供していく。

大項目	(2) 子育て家庭の支援
中項目(1)	1. 本市は、子育てをしている家庭に気を配り、保護者が安心して子育てをすることができるよう必要な支援を行います。
中項目(2)	
小項目	②経済的支援

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実施計画	H31年度以降
①ひとり親家庭等の支援	子育て支援課	ひとり親等世帯の経済的支援を図るため、制度の周知を徹底しました。	ひとり親等世帯の経済的支援を図るため、制度の周知を徹底します。	ひとり親等世帯の経済的支援を図るため、制度の周知を徹底します。
②子育て応援券の交付	子育て支援課	交付対象者:354人 使用額:6,806,500円	交付対象見込:380人 使用予算額:7,925,000円	子育て中の保護者に対し、育児の心理的不安や身体的及び経済的負担の軽減を図るため、継続して交付します。
③保育料の一部免除	子育て支援課	市内の家庭実態と他市の状況を調査研究してきました。	市民ニーズと利用実態に合わせて検討していきます。	市民ニーズと利用実態に合わせて検討していきます。
④幼稚園就園奨励費の支給	子育て支援課	就園奨励費対象児童514人の保護者に対し支給しました。	制度の周知を徹底し、国基準に基づき継続します	制度の周知を徹底し、国基準に基づき継続します
⑤就学援助費の支給	学校教育課	申請のあった延1,119人に合計20,261,290円を支給した	継続	継続予定
⑥遺児手当の支給	子育て支援課	受給者273人(児童数421人)に支給しました。	制度の周知を徹底し、ひとり親等世帯の経済的支援を図るため、手当を今後も継続して支給します。	制度の周知を徹底し、ひとり親等世帯の経済的支援を図るため、手当を今後も継続して支給します。
⑦児童扶養手当の支給	子育て支援課	受給者531人(児童数782人)に支給しました。	制度の周知を徹底し、ひとり親等世帯の経済的支援を図るため、手当を今後も継続して支給します。	制度の周知を徹底し、ひとり親等世帯の経済的支援を図るため、手当を今後も継続して支給します。
⑧未婚のひとり親家庭の支援	子育て支援課	保育所利用者負担金及び幼稚園就園奨励費補助金に対する寡婦(夫)控除みなし適用申請を6人受け付けました。	制度の周知を徹底し、未婚のひとり親家庭の支援を継続します。	制度の周知を徹底し、未婚のひとり親家庭の支援を継続します。
⑨母子・父子家庭医療費の支給	保険年金課	母子・父子家庭医療費の助成を行いました。 受給対象者数1,214人 うち子ども664人 (平成30年3月時点)	母子・父子家庭の父母及び児童の健康の保持増進を図るため、医療費の助成を、今後も継続して実施します。	母子・父子家庭の父母及び児童の健康の保持増進を図るため、医療費の助成を、今後も継続して実施します。
⑩母子家庭等の日常生活の支援	子育て支援課	対象者に対して制度の周知を徹底しました。	利用者が見込まれないため制度を廃止した。	
⑪母子家庭自立支援のための給付金の支給	子育て支援課	高等職業訓練促進給付金を対象者1名に支給しました。	制度の周知を徹底し、母子家庭の母・父子家庭の父が就職に役立つ技能や資格取得のため、自立支援給付金の支給を行っていきます。	制度の周知を徹底し、母子家庭の母・父子家庭の父が就職に役立つ技能や資格取得のため、自立支援給付金の支給を行っていきます。

大項目	(2) 子育て家庭の支援
中項目(1)	2. 本市は、子育てをしている家庭に対し、仕事と子育ての両立を支援する環境づくりに努めます。
中項目(2)	
小項目	

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実施計画	H31年度以降
①仕事と子育ての両立のための広報・啓発・情報提供	産業振興課	仕事と子育ての両立に関する相談窓口やセミナーについて、情報提供を行った。	仕事と子育ての両立に関する相談窓口やセミナーについて、情報提供を行う。	仕事と子育ての両立に関する相談窓口やセミナーについて、情報提供を行う。
②男女共同参画意識の啓発	人権推進課	広報紙、ホームページ、チラシなどで男女共同参画について意識啓発を図るとともに、次の講座を実施しました。 ・人権問題学習講座「男の料理教室」南文化センター 14人 ・男女共同参画セミナー「効果的な褒め方・叱り方」児童科学館 82人 ・男女共同参画セミナー「子育て中のママ・パパ 再就職応援セミナー」生涯学習センター 9人	広報紙、ホームページ、チラシなどで男女共同参画について意識啓発を図るとともに、講座を実施します。	広報紙、ホームページ、チラシなどで男女共同参画について意識啓発を図るとともに、講座を実施していきます。
③ファミリー・サポートの充実	子育て支援課	依頼会員 488人 提供会員 143人 両方会員 70人 延利用人数 1,053人	継続して実施していきます。	継続して実施していきます。
④雇用情報の提供	産業振興課	求人情報を窓口付近に掲示し、ハローワークを広く紹介した。	求人情報を窓口付近に掲示し、ハローワークを広く紹介します。	求人情報を窓口付近に掲示し、ハローワークを広く紹介します。

大項目	(2) 子育て家庭の支援
中項目(1)	3. 本市は、虐待、体罰、いじめ等を受けた子どもを迅速かつ適切に救済するため、関係機関と協力して、情報を共有し、子育てをしている家庭に対し必要な支援を行います。
中項目(2)	
小項目	

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実施計画	H31年度以降
①妊娠期からの児童虐待防止対策の充実	健康推進課	妊娠届出時に全数妊婦の面接を行い、妊娠期からの支援を行いました。乳幼児健診の未受診者を訪問し、全数把握に努めました。	妊娠届出時の面接や関係機関と連携し、問題を抱えているご家庭が孤立しないよう努めます。	妊娠届出時の面接や関係機関と連携し、問題を抱えているご家庭が孤立しないよう努めます。
	子育て支援課	要支援妊婦、特定妊婦に対し、保健師と連携し、妊娠期から家庭訪問や面接等を行い、出産後の安心・安全な育児の為に必要な支援を行いました。	要支援妊婦、特定妊婦に対し、保健師と連携し、妊娠期から家庭訪問や面接等を行い、出産後の安心・安全な育児の為に必要な支援を行います。	要支援妊婦、特定妊婦に対し、保健師と連携し、出産後の安心・安全な育児の為に必要な支援を継続して行っていきます。
②乳児家庭全戸訪問の実施	子育て支援課	訪問対象児数 341人 訪問実施数 332人 要経過観察児数 86人	継続して実施していきます。	継続して実施していきます。

大項目	(3) 子どもの安全・安心を保障する取組
中項目(1)	1. 本市は、保護者、学校等関係者及び地域住民等と連携し、子どもが有害な環境、犯罪、災害等の被害から守られるよう必要な取組を実施するとともに、子どもが自らの心身を守ることができるよう必要な教育を行います。
中項目(2)	
小項目	

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実施計画	H31年度以降
①防犯教育の促進	市民協働課	幼稚園、学校等において防犯教室、講話等を10回実施しました。(地域住民対象の事業含む)	幼稚園、学校等において防犯教室、講話等を13回実施します。(地域住民対象の事業含む)	幼稚園、学校等において防犯教室、講話等を15回実施します。(地域住民対象の事業含む)
②交通安全教育の推進	市民協働課	町内・団地・保育園の単位で計5回実施しました。	町内・団地・保育園の単位で計10回実施します。	町内・団地・保育園の単位で計10回実施します。
③防犯カメラの整備	市民協働課	津島駅前自転車駐車場2基、津島駅東西各1基、今市場町4丁目交差点2基の防犯カメラを維持管理しています。	6基の防犯カメラを維持管理するとともに、町内会・自治会等が新たに設置する防犯カメラに対し、補助金を交付する事業を行います。	6基の防犯カメラを維持管理するとともに、町内会・自治会等が新たに設置する防犯カメラに対し、補助金を交付する事業を行います。
④「子ども110番の家」の充実	市民協働課	平成29年度現在214件登録いただいています。	「子ども110番の家」の継続実施について、学校に依頼します。	「子ども110番の家」の継続実施について、学校に依頼します。
	学校教育課	「子ども110番の家」の継続実施について、学校に依頼した	継続	継続予定
⑤チャイルドシートの正しい使用の徹底	市民協働課	津島市広報において3度掲載するとともに、街頭にてサイン板をかかげ交通安全広報を4回実施しました。	津島市広報において4度掲載するとともに、街頭にてサイン板をかかげ交通安全広報を4回実施します。	津島市広報において4度掲載するとともに、街頭にてサイン板をかかげ交通安全広報を4回実施します。
⑥地域安全広報活動の推進	市民協働課	街頭キャンペーンを17回実施しました。	街頭キャンペーンを20回実施します。	街頭キャンペーンを20回実施します。
⑦パトロール活動の推進	市民協働課	ボランティア団体等による防犯パトロールを27回実施しました。	ボランティア団体等による防犯パトロールを30回実施します。	ボランティア団体等による防犯パトロールを35回実施します。
⑧各種街頭啓発活動の推進	社会教育課	7月6日(木)、11月16日(木)に関係機関と協力して名鉄津島駅などで実施し(総参加者45人)、非行防止や犯罪被害防止を市民等に呼びかけた。	県の青少年健全育成強調月間にあわせ関係機関と協働して青少年の健全育成についての理解等を啓発していく。	県の青少年健全育成強調月間にあわせ関係機関と協働して青少年の健全育成についての理解等を啓発していく。

大項目	(3) 子どもの安全・安心を保证する取組
中項目(1)	2. 本市は、子どもが安全に安心して暮らすことができるよう、公共施設等の整備その他必要な施策を行います。
中項目(2)	
小項目	

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実施計画	H31年度以降
①学校施設の整備	学校教育課	東小学校で下水道の接続工事、北小学校で体育館内にトイレを整備した	未定	未定
②公園の整備維持管理	都市整備課	市が管理する55箇所の公園の遊具等の点検 老朽化した遊具の修繕及び撤去 公園内の樹木の剪定・伐採 神守地区に公園を新設するための用地を取得	市が管理する公園の遊具等の点検、老朽化した遊具の修繕を実施する。また、公園内の樹木の剪定・枯損木の伐採及び樹木の消毒等を実施します。神守地区に公園を新設するための用地を取得し、一部工事を実施します。	公園を安心・安全に利用していただくため、市が管理する公園で遊具の点検を実施し、老朽化した遊具の修繕を順次実施していきます。また、公園内の樹木の剪定・枯損木や危険な樹木の伐採及び消毒等を実施していきます。神守地区に公園を新設するため、工事を実施していきます。
③道路の整備維持管理	都市整備課	側溝整備延長 L=250.9m 道路補修延長 L=2887.1m 歩道整備延長 L=88.0m	側溝の整備、道路の補修、歩道の整備を実施します。	道路側溝の整備及び道路舗装の補修を実施していきます。また、市道の不陸の解消に努め、道路陥没は迅速に対応し、歩道の整備、通学路の安全対策を実施していきます。

大項目	(4) 子どもの参画の推進
中項目(1)	1. 子どもが主体的に参加し、及び意見を表明することができるよう、子どもが参画する会議の開催その他の必要な支援を行うとともに、子供の意見を尊重するよう努めます。
中項目(2)	
小項目	

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実施計画	H31年度以降
①つしま子ども会議の開催	学校教育課	各学校の代表2名が参加し、子どもにとって身近なテーマを取り上げ、答弁を行った	未定	未定
②子どもの意見の尊重	子育て支援課	子どもを対象にアンケート等を実施した部署はありませんでした。	アンケート等を実施する場合は子どもも対象とするように全庁的に啓発してまいります。	アンケート等を実施する場合は子どもも対象とするように全庁的に啓発してまいります。

大項目	(5) 子どもの育成に係る相談体制の充実等
中項目(1)	1. 本市は、保育、教育、福祉及び保健の分野における子どもに関する相談を行う部署において密接な連携を図り、虐待、体罰、いじめ等の防止、その他の子どもの育成に係る総合的な相談体制の充実を図ります。
中項目(2)	
小項目	

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実施計画	H31年度以降
①家庭訪問による早期発見	子育て支援課	乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業等による家庭訪問を行い、虐待の早期発見に努めました。 (乳児家庭全戸訪問事業:332件、養育支援訪問事業:75件338回訪問)	乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業等による家庭訪問を行い、虐待の早期発見に努めます。	乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業等による家庭訪問を行い、虐待の早期発見に継続し努めていきます。
	学校教育課	各学校が家庭訪問・地域訪問を実施し、家庭の様子を把握した	継続	継続予定
②学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実	健康推進課	子どもの自己肯定感の向上に向けて、市内小中学校に健康教育を実施しました。 思春期教育 小学校8校1,107人 中学校4校564人 養護教諭研修会等に参加し、学校等関係機関と学童期・思春期の健康課題を共有しました。	児童生徒の自己肯定感を高める支援として、自己肯定感と関連している要因を検討し、思春期教育での啓発内容の充実に努めます。 また、児童生徒が抱える健康問題について、学校等の関係機関と連携し、取り組んでいく体制を整備します。	児童生徒の自己肯定感を高める支援として、自己肯定感と関連している要因を検討し、思春期教育での啓発内容の充実に努めます。 また、児童生徒が抱える健康問題について、学校等の関係機関と連携し、取り組んでいく体制を整備します。
③虐待を防ぐための各種知識の普及啓発	子育て支援課	4月市政の広場に「家庭児童相談室のご案内」掲載 6月家庭児童相談室案内チラシ配布 10月里親および特別養子縁組に関するポスター及びリーフレット配布 10月26日児童虐待防止に関する研修会開催 51名出席 11月市政の広場に「虐待防止月間」掲載 児童虐待防止推進月間啓発リーフレット配布	4月市政の広場に「家庭児童相談室のご案内」掲載 5月家庭児童相談室案内チラシ配布 10月里親および特別養子縁組に関するポスター及びリーフレット配布 10月24日児童虐待防止に関する研修会開催 11月市政の広場に「虐待防止月間」掲載 児童虐待防止推進月間啓発リーフレット配布を行います。	4月市政の広場に「家庭児童相談室のご案内」掲載 5月家庭児童相談室案内チラシ配布 10月里親および特別養子縁組に関するポスター及びリーフレット配布 10月児童虐待防止に関する研修会開催 11月市政の広場に「虐待防止月間」掲載 児童虐待防止推進月間啓発リーフレット配布を継続して行っていきます。
	学校教育課	毎年、県主催で「児童虐待防止研修会」が開催されており、その案内を各小中学校に周知した	継続	継続予定

④育てにくさを感じる親に寄り添う相談体制の充実	健康推進課	乳幼児健康診査において、子どもの発達過程についてのプリントを提示し、保護者に発達過程の認知を促し、必要時、早期に関わりをもてるよう働きかけました。 子どもの発達の課題や養育者の問題に応じて、保健、福祉、教育、医療等各部門と連携し、適切な支援に結びつくよう支援を実施しました。	乳幼児健康診査等の機会を利用し、早期に関わりをもつことを重視します。 子どもの課題や養育者の問題に応じて、各関係部門と連携し、地域の子育て支援サービスにつながるよう努めます。	乳幼児健康診査等の機会を利用し、早期に関わりをもつことを重視します。 子どもの課題や養育者の問題に応じて、各関係部門と連携し、地域の子育て支援サービスにつながるよう努めます。
⑤障がい児等の相談体制の充実	福祉課	サービスの支給決定をしている障がい児の100%が、障がい児相談支援を利用している。	相談機能を強化するために、相談支援体制を整えていきます。	相談機能を強化するために、相談支援体制を整えていきます。
⑥ひとり親家庭等の相談体制の充実	子育て支援課	母子・父子自立支援員相談件数 579件を実施しました。	制度の周知を徹底し、母子家庭・父子家庭及び寡婦の方の相談に応じ、自立ができるよう、情報提供及び指導、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を総合的に行っていきます。	制度の周知を徹底し、母子家庭・父子家庭及び寡婦の方の相談に応じ、自立ができるよう、情報提供及び指導、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を総合的に行っていきます。

大項目	(5) 子どもの育成に係る相談体制の充実等
中項目(1)	2. 本市は、子どもに関する相談を行う関係機関等との連携を深めることにより、虐待、体罰、いじめ等の防止、その他の子どもの育成に係る相談体制の充実に努めます。
中項目(2)	
小項目	

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実施計画	H31年度以降
①児童虐待の早期発見・早期対応のための体制づくり	子育て支援課	10月26日 2月21日 要保護児童対策地域協議会開催 ネットワーク会議12回開催 サポートチーム会議開催及び参加12回 しました。	10月24日 2月 要保護児童対策地域協議会開催 ネットワーク会議 月1回開催 サポートチーム会議 必要に応じて適宜開催しま す。	10月 2月 要保護児童対策地域協議会開催 ネットワーク会議 月1回開催 サポートチーム会議 必要に応じて適宜開催してい きます。
	学校教育課	毎月各学校から、保護が必要又は心配されている 児童生徒の報告が教育委員会に上がってくる。それ をとりまとめ、月1回開催される要保護ネットワーク会 議に参加して報告した	継続	継続予定
②相談体制、ネットワークの強化	子育て支援課	面接・電話・訪問での相談を行った。 新規:面接140件、電話176件、訪問60件 延べ:面接445件、電話488件、訪問539件 の相談があった。必要に応じて他機関と連携を取り、 ネットワークの強化に努めました。	面接・電話・訪問での相談を行います。必要に応じ 他機関と連携を取り、ネットワークの強化に努めま す。	面接・電話・訪問での相談を行っていきます。必要 に応じ他機関と連携を取り、ネットワークの強化に継 続して努めていきます。
	学校教育課	要保護ネットワーク会議で各関係機関と情報交換を 行い、必要に応じて連携を取って対応した	継続	継続予定

大項目	(6) 虐待、体罰、いじめ等の救済等
中項目(1)	1. 本市は、保護者、学校等関係者及び地域住民等並びに関係機関と連携し、虐待、体罰、いじめ等の防止、相談及び救済のために必要な措置を講じます。
中項目(2)	
小項目	

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実施計画	H31年度以降
①ネットワークの強化	子育て支援課	警察、児相、学校、主任児童委員等地域の関係機 関並びに保護者との連携を強化し、虐待の早期発 見早期対応に努めました。 虐待通告件数:23件	警察、児相、学校、主任児童委員等地域の関係機 関との連携を強化し、虐待の早期発見早期対応に 努めます。	警察、児相、学校、主任児童委員等地域の関係機 関との連携を強化し、虐待の早期発見早期対応に 継続して努めていきます。

大項目	(6) 虐待、体罰、いじめ等の救済等
中項目(1)	2. 学校等関係者及び地域住民等は、常に子どもに気を配るとともに、虐待、体罰、いじめ等を受けていると思われる子どもを発見した時は、直ちに市又は関係機関に通報します。
中項目(2)	
小項目	

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実施計画	H31年度以降
①学校での相談体制の充実	学校教育課	スクールカウンセラーを配置したり、家庭児童相談所と連携した	継続	継続予定
②スクールカウンセラーの配置	学校教育課	県から6名の配置(小学校は2名で巡回、中学校は各校1名)があった。また、市で雇用した2名が小中学校を巡回した	継続	継続予定